



題字・イラスト：会員 加藤 比呂志

紺 碧

早稲田大学校友会 調布稲門会

調布稲門会 会報

2012.6 No. 36号

事務局 調布市若葉町 2-22-10

元木 勇 気付

Tel 03-3300-4554

Fax 03-3300-8728

編集責任者 吉田 忠洋

総会報告

吉田 忠洋(平 13 アジ研修、平 19 アジ研博)

第 31 回調布稲門会総会が、平成 24 年 5 月 27 日(日)の午後 2 時より、調布市文化会館たづくり 12 階の大会議場で開催されました。出席者は、来賓者も含めると 80 名余りでした。

司会の堀内幹事による開会の辞の後、物故者の追悼が行われ、3 名の会員、大嶋憲三氏(2011.5 逝去)、加藤昌俊氏(2011.7 逝去)、芳賀孝氏(2011.10 逝去)に対して、皆で黙祷をささげました。

続いて、元木会長より挨拶があり、会員数を 250 名へ増大させる目標を達成するために、ご近所やお知り合いの卒業生への案内を活発化してほしい旨の願いがありました。また、その活動の活発化に関連して、各同好会ならびに調布市福祉バザーへの積極的参加や、調布稲門会の会報「紺碧」への記事の投稿を呼びかける発言がされました。

その後、総会議事に移り、安松幹事が議長に、野村幹事が議事録署名人にそれぞれ選任され、議事へと入りました。まず、元木会長による第 1 号議案「2011 年度活動実績」報告、椎原副会長による第 2 号議案「2011 年度調布稲門会会計報告」が行われました。椎原副会長からは、



年会費未納によって年会費収入が当初見込みより減少した点、また、昨年度の福祉バザーにおける寄付金額が減少した点についての報告と説明がありました。その後、早川監査役による会計監査報告が行われ、法令・会則に違反する行為は発見さ

れなかった旨の報告がなされました。

次に、2012 年度の活動のための議案として、元木会長による第 3 号議案「2012 年度活動計画(案)」報告、椎原副会長による第 4 号議案「2012 年度調布稲門会予算書(案)」、そして再度、元木会長による第 5 号議案「2012 年度調布稲門会役員・幹事(案)」がそれぞれ出席者によって了承されました。

続いて、新入会員の紹介が行われ、昨年度 11 名(正会員 7 名、準会員 4 名)の新規入会があったことが報告され、そのうち今回の総会に参加された 2 名の新入会員、市園敏郎氏と川田まり氏より挨拶がありました。

その後のご来賓の紹介では、多摩南部地区の稲門会ならびに調布市内の他大学の校友会からの列席者の紹介がされました。ご来賓の中から、早稲田大学・地域担当副部長の佐藤宏之様ならびに調布三田会会長の寺川毅様よ

り、調布稲門会への賛辞のご挨拶をいただきました。

続く第二部では、出羽海親方として知られる日本相撲協会理事の出羽海義和様をお招きし、「私の相撲人生」と題した講演をしていただきました（第二部の様子は、別途掲載しているため、ここでは割愛します）。

第三部の懇親会は、涌田幹事と天野幹事の司会で始められました。まず、中央大学学会の調布支部長である佐々木国夫様よりご挨拶をいただき、乾杯の音頭もとっていただきました。

その後は、各自が座席で料理やお酒を楽しみながら、フラダンス同好会によるフラダンスのショーが行われ、まるでハワイさながらの宴となりました。その後、吉友貴樹調布市長が登場され、ご挨拶をいただきました。吉友市長からは、調布駅および周辺駅の地下化がいよいよ

実現する日（8/19）が決まったことなどが発表されました。少し時間を置いた後、各同好会のリーダーによる同好会の活動紹介や、岡田幹事による早稲田大学稲門祭への参加を呼びかけるお知らせがありました。

宴たけなわの中、最後に秋沢幹事による指揮の下、早稲田大学校歌「都の西北」を全員で斉唱し、閉会となりました。

講演概要 講演者 財団法人日本相撲協会 出羽海義和理事「私の相撲人生」

柵木 真也(昭59政経)

今場所は調布出身の皇風が早稲田出身の幕内力士で期待していたが、太ももの肉離れで、5勝して休場し残念だ。彼も実力からすると入門するのはどうかと思ったが、早稲田出身なら大企業なり、それなりの道に進む人が多いのに相撲協会



に入門してきた。決意は非常に立派だ。彼は天才肌ではなく、努力型だと思う。気合いで相手を圧倒する相撲を取っている。努力次第では3役に上がれるのではないかな。

宿命みたいなものを持っていないと横綱、大関にはなかなか上がれない。私はそれなりに努力して大関の扉をちょっと開けかけるところまではいけたが、関脇で終わった。体重制であれば、軽量級で横綱になったのではないかなと思うが、悲しいかな、大相撲には体重制がない。

体が小さいので、苦勞するのは承知でこの社会に飛び込んだ。私は岡山県の倉敷に生まれた。昭和22年4月2日となっているが、3月の生まれらしい。父親が、3月生まれだと年が幼くて大変だからそうしたのではない

かと思う。これが私の人生を変えることになる。

私は7人兄弟の6番目で、親は一切手をかけてくれなかった。親は朝から晩まで働きっぱなしで、親と一緒にご飯を食べた記憶がない。姉、兄貴が飯を作ったのを食べ、私も小学3年から中学2年まで新聞配達をした。

姉が岡山県出身の元幕内力士の本家に嫁入りし、それで、三つ上の兄貴が食い扶持を減らすために、中学を卒業して出羽の海部屋に入門した。入門は許可されても検査に受からない。173センチ、75キロ。これが力士になるための最低限の条件だ。2年半かかった。まだ身長が足りなくて、身長係が3センチ、5センチある指を身長計に入れて受かったという逸話がある。

私は昭和43年3月に入門を決意した。風呂敷に洗面道具一式とパンツ1枚。餞別に3千円もらったが、あつという間になくなり、裸一貫だった。私は173センチ、体重80キロでOK。うれしかったです。

次の日から稽古が始まり、先輩があまりにも強いので圧倒された。高校時代、相撲部でやっていたから、ある程度自身を持って入門したが、十両なんて夢のまた夢、三段目も大変だと思った。当時は60～70人力士がおり、朝起きるのも戦争、食事も戦争、風呂に入るのも戦争です。朝5時に起きろと言われていたが、顔も洗えないし、トイレも落ち着いて座ってられない。30分前に起きないといけないと思い、幕下に上がるまでずっと貫き通した。

人と同じことをやっていたら、同じとこまでしかいけなない。小さな体で、とりえはハングリー精神だけ。兄貴は十両の一步手前までいって、2年半で肩を並べるところまでいった。兄貴がライバルでした。兄貴を四股名、さん付けで呼び、他人行儀だったが、一緒に食事ができるようになり、兄弟の話もできるようになった。5年で十両になるチャンスをものにした。昭和47年5月場所です。初日から5連勝し、まず間違いなく、次の場所は十両。

あまりのうれしさに、明け方まで同僚と酒を飲み、次の日は二日酔いで土俵に上がった。

不謹慎だが、二日酔いで土俵に上がる力士は結構多い。相撲は一瞬の勝負ですから、その時だけ集中すれば、二日酔いなんて大した問題ではない。そのくらい図太い神経を持っていないと、勝負に勝てなくなる。次の名古屋場所で新十両に上がり、親方や他の関取と一緒に飯が食える。兄貴はまだ幕下。逆転です。

私は指を脱臼し、次の場所は相撲を取れない。全休で幕下にもどらないといけない運命だった。ところが、私にはつきがある。その年から公傷制度が導入され、適用第1号になった。全休してもその位置にとどめられた。昭和27年4月生まれで良かった、と思っている。昭和48年5月場所で新入幕。おまけに初日から8連勝。それでも兄貴は幕下ですよ。あんまりいい気持ちしません。親も喜んで手をたたけなかったと思う。昭和53年、けがをして十両になったら、兄貴が十両に上がった。同じ十両の土俵入りをして、うれしかったですね。

昭和60年11月場所の千秋楽の朝、もう一番勝ったら十両にとどまれると思っていたら、先代に呼ばれて「お前、きょう記者会見するからな。羽織、袴を用意するよ

うに」。引退を示唆された。そう言われて力でないですよ。やはり負けました。

平成7年まで境川という名前で親方をして、後進の指導をしていた。その年の3月場所の千秋楽、後援者のいる前で先代が出羽海をやめて、相撲協会の理事長に専念すると言い出した。耳を疑った。だれが後をやるのか。東京に帰ると、先代に呼ばれて「お前に後を継いでもらいたい」と突然きた。私はとてもじゃないができない。今日は言葉だけ聞いて、少し考えさせてくれ、と。うちに帰ってかみさんに話すと「冗談じゃない、2人の息子も満足に育てられないのに、他人の子どもを30人も40人も面倒みられません」。なるほどなあ、一理あるなあと思った。

おかみさんを通じて断って、それでてっきり終わったと思っていたら、即、親方に呼ばれて説得された。どうしたらいいかと先輩に相談したら、「すごいじゃないか。男のロマンだ。なりたくてもなれない人がいっぱいいる。快く引き受けるのが男だ。頑張れ」と言われた。かみさんを説得するのが大変ですよ。なかなかうんとは言わなかった。10年もたったから、若い者の性格や、何を考えているか全部分かって、女の方が親方になっている。

あと2年くらいで定年になるが、悩んでいるのは次をだれにするかということ。伝統の灯を守っていかないといけない。昭和から平成にかけて相撲バブルの時期があったが、今はがらんとしている。スターがいなくなった。外人力士がどんどん増えて、形勢がおかしくなった。日本人で力士になる人がいない。子供の数が減ってきたからだ。外国人ばかりが入りたがって、モンゴルは順番待ち。先日はエジプトからきた。イスラム教徒ですよ、断食の時期がある。豚肉のちゃんこは食えない。特別なメニューを作らないといけない。宗教は否定できないが、相撲社会に入ったら、相撲社会のルールに則っていかな



いと統制が取れない。外国人は1部屋1人と決めたが、
どんどん帰化してくる。帰化しても外国人としてカウン
トするから駄目。

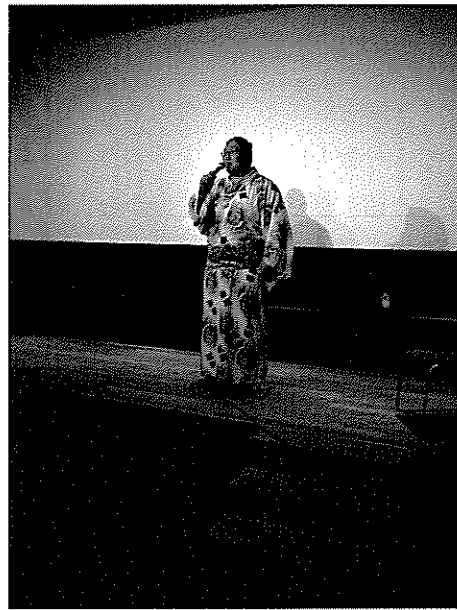
日本の子供が弱くなったのかという気がしている。こ
れからの相撲界を考えると心配だが、伝統を崩すわけに

はいかない。天皇賜杯もある。これは価値がある。みな
さんも相撲を見捨てないで、国技館に足を運んでほしい。
(記録 柵木)

調布・早稲田出身の関取『皇風』との出会い

秋沢 淳雄(昭60商)

調布・早稲田出身の力士『皇風』
こと直江俊司君は、八雲台小学校、
第七中学校の出身です。私が、所属
していた調布青年会議所の事業の中
に『わんぱく相撲』があります。小
学生を対象に日本の国技である相撲
を通して、礼や躰を伝えていくため
に毎年開催をしています。そのわん
ぱく相撲調布場所に彼は参加してい
ました。1996年、4年生の時に
優勝して国技館で相撲をとっていま
す。この時の印象は、とにかく負け
ず嫌い、前に出て行く、そのような
気迫を持った子どもでした。なぜその時の私たちの記憶
に残っていたかということ、本人を筆頭に弟2人も強く、
常に優勝をしていたからです。私が青年会議所の理事長
をしていた2000年は、末弟が、調布場所優勝、東京都大会でも優秀な成績を収め、全国大会に出場していま
す。直江3兄弟の活躍は、とても素晴らしいものでした。



その後彼が、相撲を続けていた
こと、名門の明大中野高に入学し、
全国で活躍、そして早稲田に入学
していたことすら知りませんでした。
大学時代は、怪我をしたこと
から一度は相撲を諦めかけたこと
もあったようでしたが、一念発起、
角界の門をたたいたとの知らせが
届きました。その後の活躍は、幕
下優勝、78年ぶりに早稲田出身
の関取誕生、そして十両優勝を経
て幕内に昇進していることは皆さ
んご存知のことと思います。

早稲田のアスリートは、今、様々な場面で活躍をして
います。しかし角界という非常に珍しい世界に飛び込ん
だ勇気と常に上を目指そうという姿勢を称えたいと思い
ます。また調布という地域の宝、早稲田の後輩として彼
をこれからも支えていきたいと思えます。

我らの同好会活動のコーナー

ハチャプリに魅せられて (第13回 食・歩会の集い 6月3日)

山田 和子(昭和49文)

私の大好きなハチャプリ(チーズパイのようなチーズ
パン)を食・歩会の会員に是非賞味してもらいたく、今
回の集いには吉祥寺にあるカフェロシアでのグルジア料
理を選びました。そして見学として三鷹の森ジブリ美術

館に行きました。(参加者;会食15名 見学11名)
グルジア共和国は、日本ではまだ一般的に馴染みの薄
い国ですが、東はカスピ海、西は黒海とトルコ、南はイ
ランに接するコーカサス山脈周辺の旧ソ連の三か国の一

つです。(他の二か国;アゼルバイジャン共和国、アルメニア共和国 / 東西文明の十字路に位置し、歴史と伝統のある地域です。)国土の87%が山岳地帯で、一部が黒海に面している国です。相撲力士、黒海出身国です。ロールキャベツの故里(グルジアでは、葡萄の葉に巻きます。)、そしてカスピ海ヨーグルトの故里でもあります。

カスピ海ヨーグルトは、1986年、世界の長寿食を研究していた京都大学名誉教授家森幸男氏(当時、島根医科大学教授 病理学)が、100歳を超える老人が多数いるこの国の長寿村を調査し、長寿のカギを握るのはヨーグルトではと考え、研究の為に持ち帰り、広まったものです。グルジアはカスピ海に面していないのに、どうしてカスピ海ヨーグルトと言われるようになったのか不思議です。

グルジア料理には、乳製品を使った個性のある料理が豊富です。ハチャプリはその代表格です。また家庭の数だけハーブの配合の仕方があるという国柄、料理にはハーブが巧みに活かされています。

ハチャプリを、一度は食べてみたいと長年思い続けていました。1981年10月、念願だったグルジア軍用道路(注1)を、ウラジカフカス(北オセチア共和国/ロシア)からトビリシ(グルジア共和国)まで縦断した際、レストランで食べようと思ったのですが、一人旅の者には余りにも大き過ぎて注文出来ませんでした。2年前、クラクフ(ポーランド)でハチャプリという名のレストランに惹きつけられ入った時も、一人では無理でした。昨年5月、ようやく機会が訪れました。下の娘からカフェロシアでグルジア料理が食べられるという情報を得たのです。早速彼女の誕生日祝いを兼ね出掛けて行き、ハチャプリを賞味しました。あつあつのパイ生地と、そこに程よく溶け込んだチーズの絶妙なバランス、とても幸せな気分になりました。また同じく昨年7月には、どうしてもアララット山(注2)をアルメニア側から見たいと思い、夫と共にコーカサス三か国のツアーに参加、勿論グルジアではあちこちでハチャプリを楽しみました。何故か昨年はハチャプリ三昧。ハチャプリが頭から離れず、今年前半の集いはグルジア料理になった次第です。

ーツとニシンのミルフィーユサラダ)バドゥラジャーニ(茄子の胡桃ペースト巻き)、アジャブサンダリ(スパイシーなラタトゥイユ)、バストウルマ(スパイシーな牛干し肉)、キャベツのマリネ

チーズのヒンカリ(ミント入りカッテージチーズを薄いチーズの皮で包んだもの)

スープ ハルチョー(辛い牛肉のスープ)、ハチャプリ(チーズパン)

温かい前菜 スルグニチーズのオープン焼き

メイン タバカ(ハーブソースでマリネされた若鶏のオープン焼き)

リュリャケバブ(ハーブ入り牛挽肉の串焼き)

デザート アイスクリームとグルジア珈琲

珍しい料理に感心したり、それらの写真を撮ったり、ロシア語の一言を試してみたり(スタッフ全員がロシア人)、楽しい一時でした。

その後歩いてジブリ美術館へ移動。トトロの前で記念写真を撮り、入場後、最初に短編映画「めいとこねこバス」を鑑賞しました。「今日は大人の方が多いですねーエ!」、映画が始まる直前、映画の説明の為に前に立ったスタッフが思わず口にした一言です。中央の7人掛けの席を2列占領した私達集団はとても目立っていたようです。その後、動画のしくみ、原画、制作現場の再現など見て回り、宮崎駿作品の世界を満喫しました。祖母目線でもなく、母親目線でもなく、自分目線で楽しめたのがとても新鮮でした。見学後、近くのカフェでお茶を戴き散会しました。

秋の集いは、ワンゲル部との合同企画で行おうと考えております。

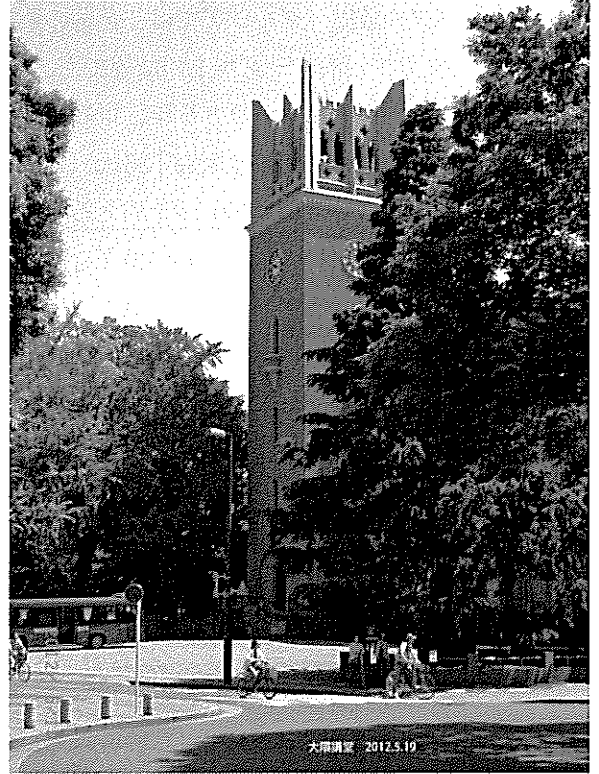
6月3日の料理;前菜 毛皮のコートを着たニシン(ピ

(注1) 帝政ロシアが、1801年グルジアを占領した

ことに伴い、元々あったコーカサス山脈を縦断するキャラバンルートを軍用道路に整備したもの。北オセチア共和国の首都ウラジカフカス（ロシア内の自治共和国）からグルジア共和国の首都トビリシまで210kmの道路



(注2) 紀元301年キリスト教を世界で初めて国教としたアルメニア人の聖山。5165m。ノアの箱舟が大洪水のあと着いた場所として有名。現在トルコ領内



紺碧の自由広場のコーナー

「国分寺崖線保全ボランティア活動と3・11」

野村 大也(昭45理工)

国分寺崖線とは・・・

古代多摩川が南へと流れを変えていく過程で武蔵野台地を削り取ってできた河岸段丘の連なりである。崖線には湧水が多く、市街地の中の親水空間として、また野鳥や小動物の生活空間として貴重な自然地となっている。崖線は立川市砂川九番から東南に向かって野川に沿って延び、大田区の田園調布付近まで30km続いている。成城学園から下流では20mを超える高さとなる。東京都は平成6年国分寺崖線緑地保全地域として指定した。

ケヤキ、コナラ及びシラカシを主体とし一部に草地、

水田等を含み、比較的自然度の高い樹林が崖斜面及び平坦地に部分的に残存しているのみになっている。

国分寺崖線保全ボランティア活動

若葉町3丁目にはこの国分寺崖線の一部を形成する第一緑地・第二緑地（通称 若葉の森）がある。この自然を守ろうと調布市緑と公園課と相談し、2010年9月から保全活動のボランティアを始めた。会の名称は「若葉町3丁目第1緑地 みどりといきものを大切に作る会」（略称「若葉の森3・1会」）。月に1回の下草刈り、繁殖したシュロ・アオキ・竹・アズマネケの伐採、小木・小枝の

間伐や枝打ち、秋・春の落ち葉かき及び、土留め、落ち葉だめ、階段、コンポスト柵の整備作業の活動をしている。この春には東京都絶滅危惧種の「キンランやギンラン」が見事に咲いてくれた。

3・11以降放射能が関東にも降り注いだ。若葉の森の樹林や落ち葉が放射能のホットスポットであれば子どもは森で遊べず、放射能の心配が加わった。福島第一原発が放出した放射能は広島原爆の470発分、しかも未だに原子炉建屋からの新たな放射性物質は毎時約1千万ベクレルが大気に放射され続けている。また5月には狛江市西和泉の道路脇の土壌で6,420そして川崎市川崎区殿町先の多摩川河川敷の土壌から約27,000ベクレル/Kgと高濃度の放射性セシウムが検出された。

この若葉の森や野川の放射能はどうなっているのだろうか？

稲門会のみなさまは3・11をどう受け止められたでしょうか。

私の周りの調布市在住の人にも3・11により大変な影響を受けた現実があります。津波で実家を流された方、近親者を失った方、福島の実家が避難地区になった方、親戚の子どもたちが高い放射線量の中で恐怖の生活をしているなど、多くの人達が普通の生活を奪われました。福島の一部は既に失われてしまった事実を正視すべきだと思います。福島原発4号機の使用済み燃料プールに不測の事故があれば、関東もすべて避難地区となり広大な国土を失うこととなり多くの日本人のDNAも傷つくことでしょう。

私は①現場・現実をしっかりと知る ②人の話を謙虚に聴き、嘘はつかないを心におき ③自分でできることをやっつけようと考えました。稲門会の中でもこのことを

お話しする機会があればと思います。

「ミツバチの羽音と地球の回転」 映写会

先日、キネマ旬報で2011年文化映画ベストテンの第五位となった鎌仲ひとみ監督の作品を観ました。建設中の山口県上関原発の目の前にある瀬戸内海の小さな島、祝島の人々の30年近く続く原発反対運動を追ったドキュメントです。スウェーデンの電力事情も取材しています。

(予告編 <http://888earth.net/888tv.html>)

驚いたことに3・11以前に完成していた映画ですが、主人公の山戸孝さんは「絶対安全、安心という言葉がそう怪しく口にするな、だから我々は中国電力を信用できんだ」と現在の状況と同じことを言っています。祝島で生活する人たちは原発交付金をもらうよりも自立した原発の無い自然の中での生活を選択したのです。

調布市に住む我々は何を大切にしていけるべきか若葉の森の保全活動を通して考えていきたいと思っています。

「残念ながら、原子力最後の日は見る事ができず、私の方が先に逝かねばならなくなりましたが、せめてプルトニウムの最後の日くらいは、目にしたかったです。」は調布市在住で反原発運動を早くから続けた故高木仁三郎さんの「友へ 高木仁三郎からの最後のメッセージ」の一節です。

<http://cnic.jp/takagi/words/tomohe.html>

金環日食によせて

大槻 誠孝(平成12法)

「天の原 ふりさけ見れば 春日なる 三笠の山に出でし月かも」

日本人ならだれもが聞いたことがある阿倍仲麻呂の歌です。そもそもどうしてこの歌を思い出したかと云うと、

先般の度々起こる世紀の天体ショー金環日食からです。5月の21日だったのでしょうか。我が国においては25年ぶり(ただし沖縄県のみ)今回のように広い地域で観測できるのは932年ぶりだったそうです。が、その時私は日

本から3000キロ離れたフィリピンにいました。日本での日食フィーバーをよそにこちらではあまり大きく取り上げられていないようで、その前日に来比したレディ・ガガに対する抗議デモがクローズアップされていました。

先に挙げさせていただきました仲麻呂の歌では月ですが、同じ太陽なのに国によって取り上げられ方がかように違うのかと考えさせられた出来事でした。

さてこのフィリピンという国皆さんはどういったイメージをお持ちでしょうか。私は最近、ここほんの2~3年で5~6回訪れています。私が初めてフィリピンを訪れる前はバナナとジャパゆきさん位しか思い浮かべられませんでした。そのイメージは数度訪れたことによって、正直変わっておりません。もちろんフィリピンについての知識は増えました。

フィリピンの首都であるマニラは成田から3時間ちょっとで、与那国島からフィリピンの北端?までも480キロしか離れていない海を隔てた隣国です。永らくスペイン、アメリカ、若干日本の統治を受けたアジア唯一のキリスト教国で英語がほぼ共通語になっています。先般アメリカがアジアシフトを標榜したように、発展しているタイ、マレーシア、インドネシアから大きく水をあけられた東南アジアきっての後進国です。国内生産の多くを農業に依存し、海外への出稼ぎ労働者の送金によって成り立っているような貧しい国です。7000以上あるといわれている島にある美しいビーチ以外これといった観光資源もなく、都市部は慢性的な渋滞、食事もおっこいものが多くこれといった美味しいものはありません。ビールは美味ですが。最近ではアメリカ軍を約20年前に追い出

したことによって南沙諸島を巡り中国と戦争が起きるのではないとも言われています。

こうしたネガティブな側面が多分にあることを否定できない国ですが私は好きです。確かに邦人の殺人事件や不審死が相対的に多く、誘拐が起こったり、ぼったくりはしょっちゅうです。フィリピンの人口は数年以内に1億を超えると云われています。戸籍制度が曖昧なため、もしかしたら既に超えているかもしれません。貧富の差が激しくて全員が全員とは言えませんが、皆“日々”を生きることに精一杯です。約70年前にあった先の大戦においてもフィリピンは最激戦地の一つです。でもそれについていまだにああだこうだいうフィリピン人に私はあったことがありません。どちらかと云うと皆日本人のことが好きです。そして昨今ジャパンパッシングやらナッシングだと自虐的にもいわれているようですが、日本を頼ってくれています。“金環日食”「なにそれ美味しいの」位に思えるフィリピンの人たちのおおらかさ、そして“日々”を生きることへのバイタリティ、我々日本人が幸か不幸か奇しくも失ったシンプルさを私は愛して止みません。子供、高齢者、障害者に対して皆とても親切です。

東京一大阪程の距離にこうした別天地があることを頭の片隅に置いて頂ければ幸いと思いたためました。

「英会話について」

福井 浅子(昭49社学)

35号会報「紺碧」でも申し上げました「英会話」についてですが、Aの場合は、希望の方がいらっしゃいませんでした。Bの方では、外国人の先生に習いたいという希望の方がいらっしゃいましたので、先生を探しましたところ、フランス人で英語が上手な方がみつかりました。

そこで、次のように始めたいと思います。ご希望

の方は、どうぞご連絡の上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1) 日時：毎月第一日曜日の午後2時30分~3時30分(60分)
- 2) 授業料：お一人1回500円

- 3) 場所：調布市文化会館たづくり 11F みんなの広場（またはコミュニティ室）
- 4) 内容・テーマ：オールフリー・トーキング（やさしいレベル）での自己紹介や英会話に対する考えおよび希望、趣味、今やっていること、話題にしてほしいことなど、何でも可
- 5) その他：コピー代実費が必要（当日の授業料 500円とは別）。飲み物が必要な人は各自ご持参下さい
- 6) 出欠席：次の所へ当日の3日前頃までにお電話を下さい。
042-499-2130 福井浅子まで。
- なお、当日ご都合のつかない方は、次月の第一週の日曜日でも結構です。お出かけ下さい。

(各同好会の代表者と連絡先)

囲碁・将棋：	大谷 暢廣 042-481-0202	社交ダンス：	元木 勇 03-3300-4554
	早川 政夫 042-487-9610	太極拳：	中野 完二 042-485-0523
カラオケ：	小笠原 忠八郎 042-481-6867	麻雀：	濁川 寿次 042-483-6966
硬式テニス：	山本 健治 042-482-6049	ワングル：	舞木 孝治 042-486-0665
	中村 輝夫 042-485-1217		天野 凡子 042-480-2503
ゴルフ：	安松 董矩 042-488-5726	食・歩会：	山田 和子 042-488-0741
フラダンス：	大谷 裕子 042-485-7489		

今年後半の主な行事日程

2012. 10. 21 (日)

早稲田大学稲門祭 ホームカミングデー

2012. 12. 02 (日)

調布市福祉バザー





<編集後記>

今回も無事「紺碧」を発行することができました。お忙しい中、原稿を執筆して下さった皆様のおかげと感謝しております。この場を借りて、御礼申し上げます。

また、早速ですが、次号（2013年1月発行予定）に向けて、原稿を書いてくださる方を随時募集しております。ご提出いただける方は、下記Eメールまでお願い致します。テーマは何でも構いません。ご自由にお書きいただければ幸いです。

最期に、今回も五十嵐様と野村様より、素晴らしい写真をご提供していただきました。誠にありがとうございました。（吉田忠洋）

『紺碧』原稿受付Eメールアドレス： tadahiroyo@hotmail.com

<p>展望レストラン たづくり 調布市文化会館たづくり12F 東京都調布市小島町二・三三・一 電話 〇四二・四四一・一六二二 http://www.shinsenguni.com/</p>	<p>桜田倶楽部 東京テニスカレッジ 会長 秋山 一 住所 〒182・0017 昭和22政経卒 東京都調布市深大寺元町二・三二・一 電話 〇四二・四八二・三二〇九</p>	<p>深大寺そば 創業文久年間 ご宴会・俳句会・御法事 元祖 嶋田家 住所 〒182・0017 東京都調布市深大寺元町五・十二・十 電話 〇四二・四八二・三五七八 FAX 〇四二・四九九・六六五五</p>	<p>旭化成建材(株)指定工事店 外壁塗装・屋根塗装 株式会社住まいるスズキ 代表取締役 鈴木 光孝 〒182・0023 東京都調布市染地三・五六五 電話 〇二〇・〇八〇・二四二</p>
<p>林建設株式会社 取締役社長 林 清一 住所 〒182・8512 東京都調布市小島町二・五六・三 電話 〇四二・四八六・二二一一 FAX 〇四二・四八六・二二〇〇</p>	<p>新しい食文化を創る 株式会社山田屋本店 代表取締役社長 秋 沢 淳雄 住所 〒182・0024 東京都調布市市田三・一・一 電話 〇四二・四八二・四五八五 FAX 〇四二・四八二・四五七二</p>	<p>早稲田大学商議員 早稲田大学調布稲門会 会長 元 木 勇 自宅 〒182・0003 調布市若葉町二・二二・一〇 電話 〇三・三三〇〇・四五五四(代) FAX 〇三・三三〇〇・八七二八</p>	<p>不動産賃貸 中村不動産管理株式会社 代表取締役 中村 俊一 住所 〒182・0035 東京都調布市上石原一・一〇・一 電話 〇四二・四八二・二〇三三</p>